

SDGs × 健康

SDGs (Sustainable Development Goals)

世界共通の持続可能な開発目標のこと。貧困対策・ジェンダー平等・気候変動対策・経済発展など、2030年までに達成すべき17の目標と、169のより具体的な課題(ターゲット)で構成されています。

SDGsというと「環境保護」のイメージがありますが、実は、「すべての人の健康の確保と福祉の推進」も達成すべき目標の1つ。SDGs貢献の第一歩として、この機会に生活習慣を見直してみませんか?

感染症 編



国際協力で感染症を封じ込め

新型コロナウイルスの世界的流行をきっかけに、感染症は発展途上国だけのものではなく、世界全体で解決すべき課題だと再認識されています。

情報共有

国際機関を通じた連携など

研究・開発の推進

研究・開発資金の提供など



途上国への支援

国際的枠組みを通じてワクチンを公平に分配



医療・保健の人材を育成



— 日本国内でも対策強化を予定 —

● 感染対策の司令塔となる機関を設置

方針を統一し迅速に対応することが可能に。

● 感染症研究・治療の拠点を一本化

対策に有効なデータ収集をスピードアップ。

日本にも多いこんな感染症

日本でも注意が必要な感染症は新型コロナだけではありません。SDGs達成に向けて、下記のような重大な感染症への対策も必要となっています。

■ 日本で課題となっている感染症の例

感染症	日本の状況
結核	毎年10,000人以上が新規感染、約2,000人が死亡
B型肝炎	現在も性交渉などで毎年10,000人が新規感染していると推定 ※母子感染はワクチン対策により減少しています
エイズ	新規報告されるHIV感染者とエイズ患者の合計は、毎年約1,000人 ※HIV:エイズを引き起こす、ヒト免疫不全ウイルス

— 重要! 子どもの予防接種 —

子どもの定期予防接種は、結核やB型肝炎、風疹などの対策として重要です。接種の時期は感染しやすい年齢などをもとに決められているので、先延ばしせずに受けましょう。

※接種の時期を逃した場合は、お住まいの自治体に問い合わせを

参考) SDGs推進本部「SDGsアクションプラン2022」／外務省 JAPAN SDGs Action Platform 「SDGグローバル指標 (SDG Indicators)」／国立感染症研究所「わが国における急性B型肝炎の現状」／厚生労働省エイズ動向委員会「令和2(2020)年エイズ発生動向」／厚生労働省ホームページ「結核 (BCGワクチン)」「遅らせない! 子どもの予防接種と乳幼児健診」

◆ レッツ! アクション まずは 基本の対策を



- ◆ 飛沫が原因の感染症を防ぐには、手洗い・マスク・換気等の基本的な対策が大切です。また、体調が悪いときは休養し、病院へ。
- ◆ B型肝炎やエイズなど、性交渉が原因となる感染症の予防には、コンドームの使用が有効です。
- ◆ インフルエンザや新型コロナウイルス感染症などの対策として、ワクチン接種を受けておくと、感染予防・重症化予防に役立ちます。